

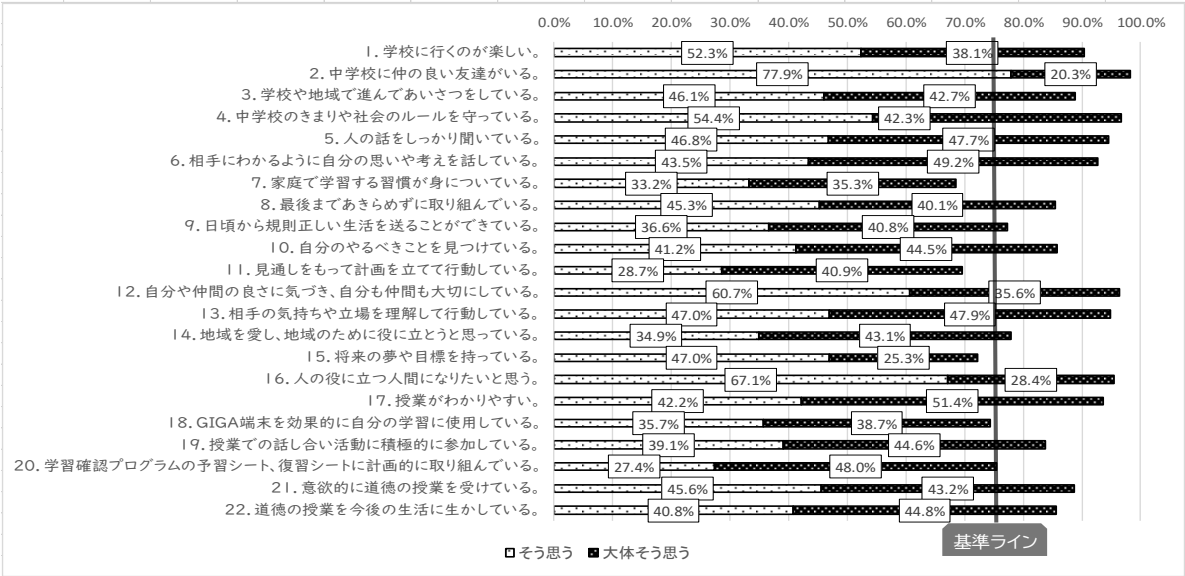
令和6年度 上京中学校 学校評価アンケート結果（前期）

【結果の見方について】

- ・生徒、保護者、教職員ともにアンケートフォームにアクセスして回答していただきました。
- ・肯定的な回答のみ（横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順）をグラフ化し、75％を判断の基準としています。

生徒

《適合度》



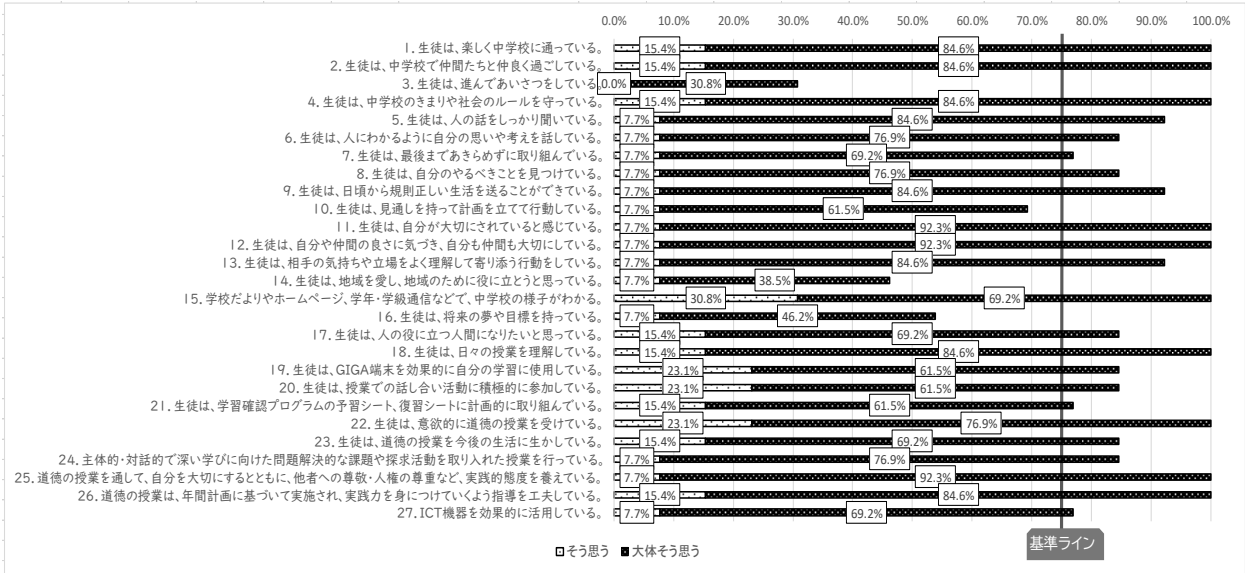
保護者

《適合度》



教職員

《適合度》



【アンケート項目と上京中学校で育成を目指す資質・能力】

| 資質・能力 | 内容 | 関連する設問番号 |
|-------------|--------------|------------|
| 情報収集・活用能力 | 知識及び技能 | 17・18 |
| 協働して課題解決する力 | 思考力、判断力、表現力 | 5・12・13・19 |
| 創意工夫して発信する力 | 学びに向かう力、人間性等 | 6 |
| 折れない心 | チャレンジ精神 | 8 |
| 自己理解と自尊心 | 自己肯定感・自己有用感 | 12・13 |

【生徒アンケートの結果をもとにした考察】

- ・＜設問 4＞昨年度同様に高い回答結果になった項目です。校則に対する理解を深め、校則を自分たちのものとして守っていかうとする態度を養うことにもつながっています。
- ・＜設問 7＞＜設問 11＞大きく課題となっている項目です。保護者・教職員の回答結果でも課題となっています。これまで以上に、授業と家庭学習を連動させることを大切にいきます。また、様々な教育活動において、自分たちで計画を立てて取り組むことを行っていきます。具体的には、タイムマネジメント能力の育成（例：テスト前の計画表指導）、時間を守る意識向上（ベル着、提出期限、完全下校）の指導などを継続して行います。
- ・＜設問 3＞生徒、保護者に関しては、進んであいさつしている回答となっているが、教職員の回答は、非常に低い結果になっており、家族や友人など身近な人に対しては高いが、「誰に対しても進んで、また気持ちの良いあいさつできているか」という点に課題があるように思われます。あいさつは他者との良好な関係を築く上で重要で、コミュニケーションの基本にもなるため、あいさつの仕方にも言及し、教職員の回答も高められるように取組を行っていきます。具体的には、まずは教職員から積極的に生徒にあいさつをすることをさらに意識する、クラス、学年、部活動、委員会でそれぞれの集団であいさつの意味を含めた習慣にする指導を行う、部活動でも指導の中であいさつへの意識を高めるとともに、部活動単位であいさつ運動をする、などに取り組む予定です。

【保護者のみなさまへ】

7月に実施しました令和6年度の前期学校評価アンケートにたくさんの保護者の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられた回答に、生徒・教職員のアンケート評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。また、保護者の皆様から寄せられた自由記述の内容や、評価から見てきた課題については改善策を立て、今後の学校運営に生かしていきます。今後とも引き続きご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。